

最新号は[Vol.19](#)です  
バックナンバーは[Vol.19](#)から  
ご覧になれます。

冬号の表紙



山本有三(1887~1974)劇作  
家・小説家



## ■ [Bunkanomori Topics](#)

運営協議会は今  
〈報告〉文化の森で活躍する文化プレーヤー  
HP委員会便り!  
表紙の人物紹介 山本有三

## ■ [Event Calendar](#)

大田文化の森運営協議会公募による事業  
大田文化の森運営協議会主催事業

## ■ [文化の森にZoom Up](#)

第3回「文化の種まき祭」  
「気軽にアート」しませんか～作品募集～  
廊下ギャラリー～展示案内～

## ■ [話題の人](#)

おおたの学校 大田区立久原小学校校長  
清水一豊  
核廃絶を願って 元第五福竜丸乗組員 大  
石又七

## ■ [わが街おおたのグッドパートナー](#)

大田区区民活動支援施設 こらぼ大森

## ■ [みなさんのおかげです](#)

健康ワンポイントアドバイス 第13回  
「文化の森であいましょう」 第7回  
ティーラウンジ すばる

最終更新日 2005.01.25

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770  
ご意見ご感想は[こちら](#)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

## 運営協議会は今 ～実行委員会に期待する課題～



2001年11月3日、大田文化の森はオープンしました。それに先立つ2月に、大田区は公募委員8人を含む区民15人の運営協議会を設置しました。この区民の運営協議会は、公募により区民の文化活動を支援する企画(2003年度は24企画)や、運営協議会が自ら直接実施するプロジェクト(2003年度は46企画)を、自主的に決定し、実行することになりました。

プロジェクトは、8つの実行委員会(誰でも楽しめる・子ども若者・異文化交流・まちづくり・芸術事業・文化プレーヤー・収穫祭・種まき祭)によって企画・実施されてきました。このように、文化活動を区民自らが自主的に決定して、それを実施することは、今までにない新しい試みであり、新しい活動でした。これは、文化の森という区立施設を舞台に、区民が文化活動を展開するという、まさに区民と行政との協働の第一歩でした。

2005年へ向けては、プロジェクトを企画実施する各実行委員会がその運営を担うという課題に取り組むことが期待されています。実行委員を確定し、企画・実施に係わるすべてのことを実行委員会全員の合意で決定し、必要な実務を分かち合うことによってこそ、実行委員会が自立し、区民活動をもう一步進めることになるからです。そのための機会として、来る3月5日の「種まき祭」があります。

区民の皆様にはぜひおいでいただいてその成果の程をご覧になり、また、今後のための助言をいただきたいと思えます。

## 〈報告〉文化の森で活躍する文化プレーヤー

2001年、区民の任意参加の登録による文化プレーヤー制度が発足し、1番から15番までを会長以下15人の運営協議会委員が登録しました。この年、200名近い方が登録し、文化の森のボランティア活動に参加しました。

文化プレーヤーの活動は、企画・実施するディレクター、音楽や演劇など特別な分野の能力で企画の実施を支援するサポーター、受付・会場整理など個々の仕事をするボランティア、自ら演ずるプレーヤーなど、参加の仕方は様々です。

現在は、実行委員会運営のための実行委員、企画提案者、企画実施のための援助者、情報誌・ポスターの発送準備作業や企画実施当日の受付・会場整理、「収穫祭」などの出演者として活躍しています。

特に、「文化の森サロン交流会」(奇数月の第3火曜日)は、文化プレーヤーによって企画・実施され、相互の意見交換や情報提供をし、親睦を深めるのに役立っています(ワンコイン500円で、喉を潤しながら歌や出し物を楽しめます)。

この文化プレーヤーこそ、区民活動支援施設としての大田文化の森の主人公といえます。

## HP委員会便り!

今は、小学生からお年寄りまで、パソコンが生活に密着しており、インターネットにアクセスし、いろいろな情報を得るのも日常茶飯事の世の中です。

本誌は、12号(夏)から、運営協議会のホームページにも登場しました。本誌の発行と同時に、最新号が掲載されています。また、いつでもバックナンバーを見ることができるようになりました。

運営協議会のホームページを見るには、検索サイトで「大田文化の森運営協議会」と入力し、検索してください。トップページが表示されたら、ウェブ版「おおた文化の森」をクリックしてください。



■表紙の人物紹介  
山本有三のプロフィール



山本有三(劇作家、小説家)

1887～1974年栃木県生まれ。

1946(昭21)年から1953(昭28)年まで大森区新井宿に居住。  
1902(明35)年、15歳で浅草の呉服店に丁稚奉公に出されるが、  
1年で逃げ帰った。22歳で第一高等学校に入学。東京帝国大学を  
卒業した時は28歳になっていた。

第一高等学校文科一年(23歳)のとき、足尾銅山に取材した戯  
曲「穴」を発表。1920(大9)年、「生命の冠」を明治座で上演し劇  
作家の地位を確立した。大正期は戯曲を中心に活躍して1943(昭  
18)年、「米百俵」まで23編の戯曲を発表した。昭和に入ってから  
は長編・中編小説を次々と発表。小説が文芸映画となって、多  
くの人々に知られた(「女の一生」、「路傍の石」他)。

1947(昭22)年、60歳で参議院議員となり、政治家として国語問  
題の各種法案の制定に尽力した。さらに、青少年の育成にと家・土地を東京都に寄付。  
それは1958(昭33)年、「有三青少年文庫」となって三鷹市に開設され、文庫活動は平成  
8年まで続いた。1965(昭40)年、78歳の時に文化勲章を受章。

一高時代同級だった近衛文麿を擁護する伝記「濁流 雑談:近衛文麿」を1973(昭48)年  
4月から、「毎日新聞」に連載したが未完のまま絶筆となる。1974年1月、86歳で死去。

三鷹にある「山本有三記念館」は1926(大15)年築の洋風建築で「有三旧邸」でもあり、  
平成6年に三鷹市の文化財に指定された。この記念館は玉川上水沿いの「風の散歩道」  
途上にあり無料で開放されている。有三の座右の銘の一つに「自然は急がない」がある。

\* 近衛文麿:大正・昭和期の政治家として人気があったが決断と断行力に欠けるとも評さ  
れた。第三次内閣まで組閣したがGHQから戦争犯罪容疑者とされた。米国の法廷に戦  
争犯罪人として出ることは耐えられないとして、1945(昭20)年12月16日自決。享年55歳。

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770  
ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

◆ 2004 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

## 大田文化の森運営協議会公募による事業

## ◆公募による事業とは

区民の文化活動を支援するために、実施したい企画、また、運営協議会に実施してもらいたい企画を募集。団体や個人が実施する企画に、使用施設・宣伝手段などの助成をします。

## ■思春期の子どもを持つお父さんへ

今時の思春期の子どもとどう向き合えばよいのか。講演を通じて日頃の思いを語り合いましょう。

開催日：2月20日/15:00～17:00/定員：32名/参加費：無料/申込：2月4日消印有効

## ■リン・ルウ・ファーム第2回公演 ～すずなり商店街奮戦記 PART II

10歳の小学生から70歳までの大田区民を主とした、演劇ワークショップ参加者による演劇公演の第2回目。

開催日：2月27日/①開演13:00(開場12:30)②開演17:00(開場16:30)

チケット：全席自由1800円(子ども800円、大田文化の森にて発売中)/未就学児不可

【お知らせ】大田区報「3月1日号」に、平成17年度後期公募企画 募集記事を掲載します。

## 大田文化の森運営協議会主催事業

## ◆主催事業とは

区民が自ら学び、演じ、交流し合って、新しい文化を創造し、区民参画による管理運営を実現するために、実行委員会(8プロジェクト)で主に企画し、実施する事業です。

## ■廊下ギャラリー～喫茶「色えんぴつ」展覧会(詳細は4頁)

精神障害者小規模施設作業所、喫茶「色えんぴつ」のメンバーによる絵画などを4階廊下ギャラリーに展示。提案者の塩田宗光氏は喫茶「色えんぴつ」のマスターであり、精神保健福祉士。

開催日：1月15日～28日/9:00～18:00

## ■町が変わる、街を創る

まちづくりコーディネーター養成講座の第4弾。住みやすい街を創るために、市民はいかに参加し行動する方法があるか、実例によって学ぶ講座。

開催日：1月20日/19:00～21:00、29日/13:00～16:30、2月3日/19:00～21:00、11

日/13:00～16:30/

定員：先着順30名/参加費：各回500円

## ■大田文化の森落語会 季節寄席〈冬〉

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」の第3回目。出演は春風亭朝之助、林家ぼたん。演目は「尻餅」他。

開催日：1月22日/開演18:00(開場17:30)/チケット：全席自由500円(大田文化の森にて発売中)/未就学児不可

## ■よみがえる文士村③〈タウン誌と馬込文士村編〉

「文士と町」をテーマに、地元のタウン誌の編集長西村敏康氏に語っていただきます。

開催日：1月23日/13:30～15:00/定員：抽選で65名/

参加費：300円/申込：1月17日必着

## ■大田文化の森合唱団演奏会

一部はピアノ伴奏で「大田区歌」「ドイツ歌曲」「水のいのち」、二部はオルガンの伴奏でモーツァルトの「レクイエム」を合唱。

開催日：1月23日/開演14:00(開場13:30)/チケット：全席自由2000円(大田文化の森にて発売中)/未就学児不可

■わくわくこども科学の森 びりりん～静電気であそぼう～

静電気ってなあに？ その正体を探ってみよう。

開催日：1月29日、2月5・12日/10:00～11:30/

定員：先着順30名(全3回)/小学生

■第二回新春邦楽芸術祭公演

本格的な日本伝統芸能の唄と三味線、舞踊公演と今を輝く若手による舞台と一流演奏者との華やかな競演(大田区後援)。

開催日：1月29日/開演13:00(開場12:30)/

チケット：全席自由2500円(大田文化の森・アプリコ・区民プラザにて発売中)

■文化ボランティア(TARAKU)養成講座

「ボランティア」の概説、過去・現在・未来、全国の事例紹介、事例研究、ワークショップなど。文化活動での自分づくりから地域づくりまでを学び、活動の第一歩とする。

開催日：2月19・26日、3月5・12・19・26日/19:00～21:00/

定員：抽選で30名/申込：2月12日必着

■日本の伝統音楽にチャレンジしよう

情操教育の一助として、子どもたちに日本の伝統音楽に親しんでもらう体験講座。

開催日：2月5日、3月29日/13:00～15:00/

定員：先着順各100名/小中学生

■誰でも楽しめるフリーマーケット

文化の森でフリーマーケットを開催。ホールでは大道芸やダンス・手話を使ったエンターテインメント映画の上演等も行われ、お祭りのような楽しい催しです(雨天決行)。

開催日：2月6日/9:00～15:00

(ホールの催しは12:00～18:00)/参加無料

■よみがえる文士村④<落語編>

今人気の春風亭朝之助さんに生き(粋)な噺を一席。

開催日：2月20日/13:30～15:00/定員：抽選で65名/

参加費：300円/申込：2月10日必着

■防災フェスタ

地域と文化の森の協力で開催。楽しみながら、防災への必須知識をしっかりと理解します。

開催日：2月27日/10:00～16:00/参加無料

■第3回「文化の種まき祭」(詳細は4頁)

「種まき祭」でまいた文化の種を「収穫祭」で美しく咲かせます。

開催日：3月5日/10:00～17:00(全館イベント)

午前中はホールでの報告と発表、午後は全館で様々な企画を実施します。

■「気軽にアート」しませんか(詳細は4頁)

3月5日に開催される「種まき祭」展示コーナーにて開催の～終日交流・作品展～への出展者を大募集。希望者は2月10日までに作品内容を具体的にお知らせください。

■魅力がいっぱい バレエのワークショップ

クラシックバレエの解説と体験。芸術体験・鑑賞するための知識や、始めてみたいと思う人の体験勉強ワークショップ。

開催日：3月6日/14:00～16:30/定員：先着順40名/

参加費：1000円

■大田文化の森落語会 季節寄席<春>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」の第4回目。出演は春風亭朝之助、三増れ紋、古今亭駒次。演目は「長屋の花見」他。

開催日：3月12日/開演18:00(開場17:30)/

チケット：全席自由500円(大田文化の森にて2月7日～発売)/未就学児不可

■よみがえる文士村⑤<コンピュータ編>

コンピュータグラフィックにより馬込文士村を再現し、現在に至るその変貌を調べるための第一歩をスタートする。

開催日：3月20日/13:30～15:00/定員：抽選で65名/

参加費：300円/申込：3月11日必着

◆上記事業に関する詳細につきましては、下記までお問合せ願います。

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。TEL 03-3772-0770  
ご意見ご感想は[こちら](#)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

## 全館イベント

第3回「文化の種まき祭」～大田文化の森のすべてを見せます～

平成17年3月5日(土)午前10時～午後5時

文化の種をまき

美しい花咲く文化の森を

創造しましょう



昨年の「種まき祭」の交流会

文化の森の二大行事である「種まき祭」と「収穫祭」について、運営協議会は両者の関連性のイメージを考えてきました。「種まき祭」でまいた文化の種を、「収穫祭」で、美しく咲かせるということです。そのために、本年度は、運営協議会委員の主導ではなく、文化プレーヤー自らが種をまき、それを立派に育てるために、運営協議会委員と文化プレーヤーとが一体となって、協力していきます。

午前中は、ホールで式典を行った後、運営協議会と8つの実行委員会が、活動報告と2005年の活動方針を説明・紹介します。

参加者は、2004年度に区民としての文化プレーヤーがこの文化の森で行ってきたことの全貌を見聞きし、

理解することになります。そして、それぞれが、「収穫祭」までに何をしたら良いかを感じることに、これが午前中のねらいです。

午後は、各実行委員会の分科会とし、各々のテーマにより具体的な企画を発表することにより、これからの一年間の活動の方向を示します。

催しとしては、親子向けガーデニング、文士村ラーメン、そば打ち、食育、大田区マップまち自慢ワークショップ、幼児～中学生ワークショップ、フリーマーケット、模擬実行委員会、気軽にアート、子どものための邦楽などが予定されています。

また、大田区在住の議員の皆さんと区民とが自由に語り、交流するための「議員の部屋」も設けます。「種まき祭」終了後、参加者による交流会を、多目的室で行います。文化の森に多くの区民が参集し、文化の花、交流の花をいっぱい咲かせようではありませんか。皆様のご来館を、心よりお待ちしております。(「種まき祭」実行委員一同)

## 「気軽にアート」しませんか

大田アーティストが集う、終日交流・作品展出展者大募集！

大田区に顕在または潜在するアーティストの皆さん、3月5日の「種まき祭」で作品発表しませんか。日頃、個展やグループ展に出展されている方はもちろん、せっかくの作品を今まで誰にも見せずご自分だけで鑑賞されていた方、これもアートかな？と思いながら制作を続けている方、この機会をお見逃しなく。彫刻、絵画、陶芸、写真、書、フラワーアート、ガラスアート、ファッション、オブジェ、パフォーマンス、グラフィックアートなど作品分野は問いません。

この「気軽にアート」展は、大田文化の森に皆さんでアートの種をまき、アートの樹を大きく育てていただくための最初の作品展です。

まずは「種まき祭」当日のみの開催ですが、アーティスト仲間と出会ったり、会場でご自分の作品について語ったりできる交流会を兼ねた、楽しい催しです。

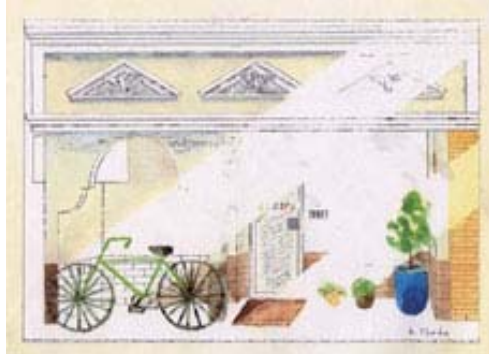
参加希望者は、作品内容を運営協議会芸術事業プロジェクトまでお知らせください。締め切りは2月10日まで。



## 《廊下ギャラリー》

～展示案内～

喫茶「色えんぴつ」は、マスターの塩田が小さな精神科病院で出会った人達と始めた共同作業所で、来年



展示作品より

で10年目を迎えます。

無理をして仕事を始め、具合を悪くする人の方が多い中、何人かの方は「色えんぴつ」を卒業して、就職したりアルバイトを続けています。

「色えんぴつ」のメンバーの中に、絵を描くことが好きな人が何人かいます。自然の花や鳥を描くのが得意な人、日常生活の断片を何気なく描く人。これらの人たちの作品は「色えんぴつ」の店内で販売しています。

今回、この人たちの絵を「廊下ギャラリー」に展示することになりました。ほっとする絵や、美味しそうな絵だと、マスターとしては、自画自賛しています。足を運んでいただくと嬉しいです。

\* 開催期間 1月15日～28日

\* 喫茶「色えんぴつ」 電話 3734-3690 マスター塩田宗光

---

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770  
ご意見ご感想は[こちら](#)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.



おおたの学校  
新しい教育へのコンセプトを詰め込んで落成  
大田区立久原小学校校長 清水一豊

久原小学校は開校111周年を迎え、久が原特別出張所を併設した複合施設として新校舎が落成しました。現在21学級 720人の子どもたちが学んでいます。

21世紀の新しい教育に対応すべく、オープンスペースのある教室、図書室・コンピュータールーム・多目的室が一体となったメディアホール、水深調節可能な屋上プール、全天候型の校庭等久が原の丘に新たな「学びのターミナル」として聳えています。本校は3万年前の旧石器時代及び縄文・弥生時代の集落跡に建てられています。

久が原村一村だけの学校の設立、村の中心部、そして丘の一番高いところに学校を建てたことなど、当時の教育への期待や願いは今もなお久が原の地域に息づいています。



新校舎「学びのターミナル」

新しいコンセプトのもとに設計された本校の理念は、少しずつ具体的な形として現れてきています。

オープンスペースを活用しての学年単位の多様な学習の展開。一年から六年生で構成される、縦割りグループで過ごす「あおぞら」の時間。

また、百人の保護者による読み聞かせボランティアが、各教室で隔週、朝の時間読み聞かせを実施。すでに6年間の実績があり、読書好きの子どもたちが増えています。

さらに、「学びのターミナル」を象徴する活動に「夏休みドキドキ学校」があります。保護者・地域・NPO・企業・中学校・関係機関等によるワークショップの開催があります。今年度は55の企画に1400人の

子どもたちが参加しました。生涯学習社会の新しい学びのスタイルとして、学校・PTAが企画・運営しています。

久が原特別出張所との連携はもとより、久が原保育園との共同カリキュラム開発や久が原図書館の学習活用など、「学びのターミナル構想」への様々な試みがいま展開されています。

話題の人  
核廃絶を願って

ビキニの米水爆実験により第五福竜丸被爆から50年。  
大田区在住の元乗組員大石又七さん取材しました。



### ■ 事の発端

1954(昭和29)年3月1日、アメリカは太平洋のマーシャル諸島ビキニ環礁で水爆実験を行いました。

この時、爆心地から約160キロメートルのところで、まぐろはえなわ漁業をしていた第五福竜丸の船上にも真っ白な「死の灰」が雪のように降り注ぎ、乗組員23人が被爆しました。その中に、当時20歳の若者、大石又七さんもいました。

### ■ 被爆を語る活動へ

大石さんは、静岡県榛原(はいばら)郡吉田町で生まれ、現在70歳。父親を亡くし、中学を二年で中退、生活のため漁師になりました。現在、大田区でクリーニング店を営んでいます。

被爆経験については、様々な経験から、かくれていたという気持ちと納得できないという気持ちが混在していましたが、1983(昭58)年、5、6人の中学校生徒に初めて話す機会を持ち、一人の目の不自由な生徒に知ってもらいたい一心で、第五福竜丸の模型を作って寄贈しました。

以来、頼まれれば出て行き、話すようになり、最近は大田区内の小・中・高校でも話をしています。

### ■ 「マグロ塚」の建立

1995(平成7)年、都営地下鉄12号線(大江戸線)築地駅建設に伴い、原爆マグロの骨の発掘調査が行われました。

各所の廃棄汚染マグロは1000隻程、457トンにもものぼります。この場所に「平和への道しるべ、平和への一里塚」として、忘れられている放射能の恐ろしさを後世に伝えるために「マグロ塚」の建立を思いつきました。

たくさんの人、特に次代を担う若者が趣旨に賛同し参加するために、10円募金として募り、2000(平12)年5月30日までに署名22,368人、募金3,063,987円が集まりました。

現在、築地市場再整備中のため、マグロ塚は夢の島第五福竜丸展示館の近くに置かれ、東京都中央卸売市場正門脇、原爆マグロが埋められた場所には、マグロの絵を描いたステンレス製のプレートが置かれて、道行く人々に平和への願いを訴えています。



---

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770  
ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

## 大田区区民活動支援施設 こらぼ大森 ～地域の運営・区民にウェルカム～

旧大森第六小学校を改修し、平成16年4月1日にオープン。「区民との協働」を基本にした、1、協働支援施設、2、区民利用施設、3、子ども交流センター、4、シルバー人材センター作業所を複合した新しい仕組みの施設。計画の立ち上がりから、自治会・町会を中心として地域が深く関わってきたことに大きな特徴がある。

この施設は、NPO、自治会・町会など区民活動団体が、連携・協働して、区民活動を実践するための場として開設した。利用に際しては、登録が必要。問い合わせは、「こらぼ大森」(電話5753-6616。詳細は下段参照)まで。

以下、施設の概要を紹介する。



旧大森第六小学校を改築した「こらぼ大森」の全景

■1・2階 区民活動のための「協働支援施設」  
管理業務、活動の相談、コーディネイトは、特定非営利活動法人「地域パートナーシップ支援センター」が行っている。

1階【調理室・軽食コーナー】

ここを活用して大田区食事サービス連絡会に所属する、ひまわり、けやき、こらぼ・このはな、サポートぱんぷきんが高齢者・障害者への配食サービスや会食会を行っている。「ふれあいコーナー」では、自動販売機、飲食可、いつでも自由に歓談できる。

2階【情報交流室】ロッカー・メールボックス・掲示板を利用した広報活動ができる。区民活動に関するチラシが豊富にあり、区内区民団体の情報検索ができる。

【ミーティングルーム】1時間を目安として、無

料で自由に打ち合わせができる。

【ワーキングルーム】会報・チラシ・報告書などの印刷ができる。紙持参で製版1回30円、印刷費は1枚につき1円。コピーは1枚10円。

【共同事務室】月額5000円で1年契約(1回に限り更新可)、1ブース10㎡で8ブースある。

【会議室】定員45名、有料、予約制。

■3・4階 「ともに創る地域の子育ち・子育て」をめざす、子ども交流センター

ここは、特定非営利活動法人「おおもり子どもセンター」が大田区より学童保育事業の委託を受け、児童館事業も行っている。

【学童保育室】希望家庭には午後7時まで延長対応。必要な日だけ延長するスポット利用もある。

【ファミリールーム】親子同士の自由な交流ひろば。乳幼児親子のための専用部屋があり、ランチもOK。

【中高生交流スペース】月・水・金は午後7時まで。他に、音楽室・音楽練習室もある。開設以来、各種イベントにも積極的に参加。スポーツの企画運営も高校生ボランティアが担っている。

■地域の活性化に期待される、区民利用施設

利用者登録をした区内の団体・個人がサークル活動や集会などに利用できる。

多目的室、いろいろルーム(畳と板敷部分。座卓・座布団等)、体育館、グラウンド。

■1階 地域社会に貢献する、シルバー人材センター大森西作業所

地域企業から依頼された作業や、小学生向け学習教室「寺子屋」をシルバー会員により実施し、各種イベントにシルバー・ボランティア活動として参加している。

今後、自治会・町会と区民活動団体、NPOなどが、どのようなコラボレーション(協働)の形をつくっていくかが期待されている。

- ◆大田区区民活動支援施設運営協議会発足の経緯
- 1、平成14年6月、旧大森 第六小学校施設活用協議会 発足
  - 2、平成15年1月、旧大森 第六小学校施設運営準備協 議会 発足
  - 3、平成15年10月、子ど も交流センターの運営組織 がNPO 法人の認証を取得
  - 4、平成16年1月、自主運 営の意思を決定し、運営協 議会の 発足を準備
  - 5、平成16年3月、大田区 区民活動支援施設「こらぼ 大森」運 営協議会が発足



## 大田区区民活動支援施設 こらぼ大森

### 【利用案内】

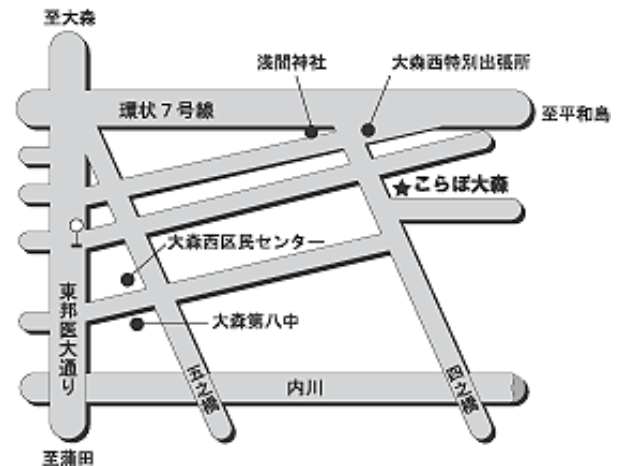
開館時間 午前9時～午後10時  
 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）  
 会議室 施設を利用される場合には、登録が必要です。  
 詳しくは下記までお問い合わせください。

### 【利用に関するお問い合わせ先】

〒143-0015 大田区大森西2-16-2 「こらぼ大森」  
 電話:03-5753-6616

### 【交通】

大森駅東口から森50系統蒲田行きバス「大森西2丁目」下車徒歩約5分



[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770  
 ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)

◆ 2004 Ota bunkanomori. All rights reserved.

## 健康ワンポイントアドバイス 第13回

東邦大学医学部附属大森病院  
循環器内科 山科 昌平

### 高血圧のはなし

高血圧とは、くり返し測っても最高血圧が140mmHg以上、あるいは最低血圧が90mmHg以上の場合をさします。1回の測定値で即高血圧ということにはなりません。

医師や看護師などに血圧を測られると、緊張で血圧が一時的に上昇することはよくあり、白衣性高血圧と呼ばれています。

高血圧が心配な方は、家庭での血圧測定をお勧めします。家庭血圧計は様々なタイプがありますが、上腕(二の腕)で測定するものがよいでしょう。測定の際は使用説明書をよく読み、正しい方法で測ることが大切です。測定は起床後1時間以内で排尿後、朝食前に座った姿勢で行うのが勧められています。

こうして測った値で、最高血圧135mmHg以上あるいは最低血圧85mmHg以上が続くようであれば、医師に相談したほうがよいでしょう。

高血圧状態が長く続くと、脳卒中、心臓病などの原因となるので、症状がなくても放置してはいけません。高血圧の原因には、遺伝的因子の他に、過剰な塩分摂取、肥満、喫煙、ストレスなどがあります。

遺伝的因子以外は個人の努力で改善することが可能で、これは生活習慣の修正と呼ばれ、高血圧症の予防ならびに治療において基礎となるものです。

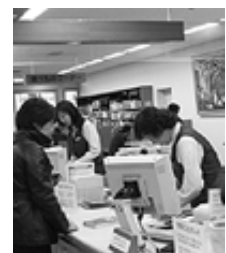
## 文化の森であいましょう」第7回

### 受付スタッフにインタビュー



1階のフロントは来館者が最初に接するところなので、笑顔で話をよく聞くように心がけています。混んで待たせてしまった時には、「お待たせして申しわけありません」と一声掛けるようにしています。お客様に「ありがとうございます」と声をかけられたり、部屋を利用された方から「すごく良かったよ」と言われる時はうれしいですね。

2階の図書コーナーでは、制服を着用し、利用者というよりもお客様第一と心がけています。司書資格はほとんどのスタッフが有しており、「こんな本を読みたい」と頼まれ、用意して喜んでいただいた時、また、資料集めのお手伝いをして、後日「とても役にたったよ」とお礼を言われた時など、やっつけて良かったと思います。



マルチメディアコーナーでは、インターネットや体験コーナーなど幅広い年齢層の方に楽しんでいただいております。オープン以来利用者は年々増えております。一人でも多くの方にパソコンの楽しさを味わっていただきたいと思っております。

最後に、皆さんからのメッセージ。  
文化の森は公共の場なので、皆で仲良くゆずりあって、気持ちよく使っていただけるとありがたいですね。そして、もっと多くの方に知っていただき、近所の方々もできる限り利用して欲しいですね。

## ティーラウンジすばる

ようこそ、福祉の店「ティーラウンジすばる」へ



梅おぼろうどん

「木枯らしの中、体も心もポッカポカ」

開店より丸3年経過、味も人も深みを増し障害を持つ従事者2名、その他スタッフ十余名、日替わり勤務にも馴れ、特に従事者2人の飛び切り笑顔は「すばる」の外交官。館を守る職員の方、福祉の店を御理解下さるお客様方の温かさに支えられ、幸せな日々です。

街々に木枯らし吹く日も間近、当店お薦めメニューの「梅おぼろうどん」。

前夜よりだし取りをし、遠く越中より取り寄せのおぼろこんぶと老舗日本橋の鰹節をたっぷりの具に、三つ葉、ゆずのほのかな香りに包まれ鎮座増します梅干、食せば身も心も温まり、疲れも治え味覚も大満足。ぜひ一度お召し上がり下さい。スタッフ一同心よりお待ちしております。

営業時間 10:00～17:30定休日 隔週月曜日・全館休館日

情報誌「おおた文化の森」はここにあります

「文化の森」が遠いという方も大丈夫。

区内の下記の施設でも手にとることができます。また、配布協力店も随時募集しています。

#### 【区内主要施設】

大田区役所内区政情報コーナー・区民生活課・社会教育課/大田文化の森/区民プラザ/区民ホールアプリコ/図書館・区民センター・文化センター・児童館/エセナおおた/生活センター/産業プラザ/池上会館/郷土博物館/多摩川台古墳展示室/田園調布富士見会館/ゆうゆうくらぶ/心身障害者施設/大田区体育館/大森スポーツセンター/ユースセンター/地域行政センター・特別出張所他

#### 【近隣地域協力商店街】(代表店名)

大森柳本通り名店街(金海堂)、柳会 山王ハーモニーAVE(大花園)、新柳会(平林酒店)、臼田坂通り商店街(ミカドクリーニング)、春日橋くすのき通り商店街(ウスタフオスタジオ)、観音通り共栄会(越前屋)他

#### 【その他】

大田区内各地域の郵便局、昭和のくらし博物館、大田区内の城南信用金庫各支店、東京民銀行(大森支店・蒲田支店)他

#### 編集後記

今号は、表紙の文士・話題の人・わが街おおたのグッドパートナー、のすべてが、結果として女性となりました。

□「健康ワンポイントアドバイス」「文化の森であいましょう」は今回で終了。次回からは新企画が始まります。ご期待下さい。

□マスクミによると昨年は「災」年であったとのこと。今年は「福」年であることを願います。

□情報誌へのご意見・感想などお待ちしております。

「おおた文化の森」次号2005年「春号」は4月1日発行予定です。

情報誌「おおた文化の森」2005年冬号  
2005年1月15日発行(季刊 通巻第14号)

編集人 河合良治

発行 大田文化の森運営協議会

〒143-0024東京都大田区中央2-10-1

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

編集協力 株式会社 恒和印刷所 川田英樹 川田達也

印刷 株式会社 恒和印刷所

[大田文化の森運営協議会Webサイト](#)も是非ご覧下さい。 TEL 03-3772-0770

ご意見ご感想は[こちら](mailto:bunkanomori@nifty.com)まで [bunkanomori@nifty.com](mailto:bunkanomori@nifty.com)